

## 第67期 中間株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

## 長期ビジョン「Vision 110」を実現し、 人々の健康に幅広く貢献する企業を 目指してまいります

代表取締役社長  
**荻原 豊**



当社グループの恒久的な使命は、創業当時から「人々の健康への貢献」であり、企業理念である「キョーリンは生命を慈しむ心を書き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」を具現化することに取り組んでいます。当社グループは、これまでオリジナル新薬の創出を核とした医療用医薬品事業を中心に成長し続けてきました。このDNAを基に、長期ビジョン「Vision 110」では、「医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中核に据え、健康関連事業を複合的に展開し、人々の健康に幅広く貢献する企業」を目指します。私は、この企業像を実現することが、当社グループの存在意義であると確信しています。

長期ビジョンの実現に向けて、最終年度までの期間を3つのステージに分けています。このうち第1段階である、中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」は、持続的な成長に向けた「種蒔き」の期間と位置づけています。次の

ステージで「開花」し、最終ステージでその果実を「収穫」することを想定しています。さらにこの長期ビジョンの10年間だけでなく、その先の10年、20年という長期にわたる成長の基盤を築くために、創薬イノベーションへの挑戦を継続していきます。一方、創薬活動が成果をもたらすまでには時間がかかることが予想されます。そのため、持続的な成長を目指すにあたり、継続的に新たな導入品を獲得し、開発パイプラインを充実させることが不可欠です。「Stage1」では、経営資源（ヒト、モノ、カネ）の投入を増やし、導入品獲得力を大幅に強化することを目指しています。当社グループは、創薬研究活動と導入活動をさらに強化し、揺るぎない信念を持って長期ビジョン「Vision 110」の実現に全力を尽くします。

株主の皆様におかれましては、当社グループに対するより一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 長期ビジョン

# Vision 110

創業110周年に向けたビジョン

## 目指す姿

医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中核に据え、健康関連事業を複合的に展開し、人々の健康に幅広く貢献する企業

## 期間

2023年度—2032年度（10年間）

## 中期経営計画

**Stage1**：2023—2025年度

**Stage2**：2026—2029年度

**Stage3**：2030—2032年度

創業110周年に向けた長期ビジョン「Vision 110」を推進しています。  
目指す姿の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

## 中期経営計画

Vision 110の実現に向けた事業体制への変革

Vision 110  
— Stage1 —

- 1 医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出力強化
- 2 導入による開発パイプラインの拡充
- 3 新薬比率の最大化
- 4 新医薬品事業と相乗効果のある健康関連事業の推進
- 5 持続可能な企業基盤の構築

中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」では、Statement に「Vision 110の実現に向けた事業体制への変革」を掲げ、5つの事業戦略を推進し、成果目標の達成とステークホルダーの皆様からの支持・評価の向上を目指しています。

中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」(2023～2025年度)達成への取り組み

Vision 110  
Stage1

|                               | 2024年度 取り組み                                                                                                                              | 2024年度 上期の状況                                                                                                                                            |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 医療ニーズに応える<br>価値の高い新薬の創出力強化  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 自社研究及び外部技術獲得を推進</li><li>● 研究開発パイプラインの充実</li></ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"><li>● 開発候補品を創出(自社創製品)</li><li>● 新規創薬テーマの推進</li></ul>                                                                  |
| 2 導入による開発<br>パイプラインの拡充        | <ul style="list-style-type: none"><li>● 導入品を複数獲得</li></ul>                                                                               | <ul style="list-style-type: none"><li>● 複数の新規導入案件が同時進行</li></ul>                                                                                        |
| 3 新薬比率の最大化                    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 新薬の普及最大化を加速</li></ul>                                                                            | <ul style="list-style-type: none"><li>● 新薬比率54.0%(24年度予想51.0%)</li><li>● 上期計画233億円<br/>→実績236億円(達成率101.3%)</li></ul>                                    |
| 4 新医薬品事業と相乗効果のある<br>健康関連事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"><li>● ソリューション提供型営業活動の推進<br/>感染症関連製品売上 24年度予想 112億円</li><li>● 高岡工場本格稼働</li><li>● ムコダイン増産体制を構築</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 感染症関連製品売上 24年度上期 50億円</li><li>● GeneSoC mini2発売 普及最大化に向け、MRによるプロモーション強化</li><li>● 高岡工場でムコダイン、アムロジピン出荷</li></ul> |
| 5 持続可能な企業基盤の構築                | <ul style="list-style-type: none"><li>● 業務の効率化とコスト削減</li></ul>                                                                           | <ul style="list-style-type: none"><li>● 業務の効率化とコスト削減</li></ul>                                                                                          |

| 数値目標(連結ベース)の進捗 |                           | 成果目標(2025年度) | 2023年度実績 | 2024年度予想 |
|----------------|---------------------------|--------------|----------|----------|
| 成長性            | 売上高年平均成長率(CAGR)           | 2%以上         | 5.5%     | 4%       |
| 収益性            | 研究開発費控除前営業利益率(営業利益+研究開発費) | 16%以上        | 12%      | 12%      |

2024年度

キョーリン製薬グループ 経営方針

# 変革を成し遂げる

## 当中間期の業績

|                 |           |                |
|-----------------|-----------|----------------|
| 売上高             | 55,139百万円 | (前年同期比 0.4%増)  |
| 営業利益            | 1,549百万円  | (前年同期比 16.0%増) |
| 経常利益            | 2,050百万円  | (前年同期比 29.9%増) |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,255百万円  | (前年同期比 33.6%減) |

## 当中間期の概況

当中間期における国内医療用医薬品業界は、2024年4月に薬価改定が実施されるなど、継続的な医療費抑制策の推進によって一層厳しい環境下にあり、医療用医薬品市場の成長率は横ばいで推移しました。

当社グループは、2023年度に策定した長期ビジョン「Vision 110(2023年度～2032年度)」及び中期経営計画「Vision 110 -Stage1- (2023年度～2025年度)」の達成に向けて邁進しています。その2年目となる2025年3月期は、経営方針に「変革を成し遂げる」と掲げ、事業活動において①創薬の変革を成し遂げる、②パイプラインの拡充、③新薬の普及最大化、④コスト競争力の向上に積極的に取り組んでいます。

当中間期における売上高は、薬価改定(杏林製薬(株)7%台)の影響はあったものの、新薬の伸長により、新医薬品等(国内)の売上高は前中間期を上回る実績で推移しました。後発医薬品の売上高は薬価改定の影響等により減少しましたが、全体の売上高は55,139百万円と前年同期比202百万円(前年同期比0.4%増)の増収となりました。

## 2024年度方針のポイント

創薬の変革を成し遂げる

パイプラインの拡充

新薬の普及最大化

コスト競争力の向上

利益面では、新薬の伸長はあったものの、薬価改定や為替変動の影響により売上原価率が上昇し、売上総利益は前中間期に対して272百万円減少しました。他方、販売費及び一般管理費については、一般経費の増加はあったものの、販売費、人件費等の減少により、前中間期に対して485百万円減少(研究開発費は1百万円増加)し、その結果、営業利益は1,549百万円と前年同期比213百万円(前年同期比16.0%増)の増益となりました。経常利益は、為替差益が生じた影響等により2,050百万円(前年同期比29.9%増)となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は1,255百万円(前年同期比33.6%減)となりました。これは前中間期に投資有価証券売却益を計上した反動によるものです。

## 通期の見通し

現時点におきまして、2024年5月10日に公表した通期の業績予想は変更しておりません。

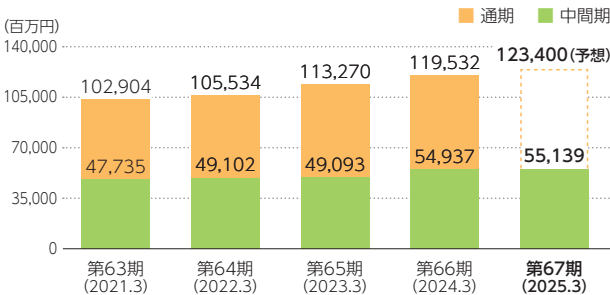
## 2025年3月期連結業績予想(通期)

(2024年5月10日公表)

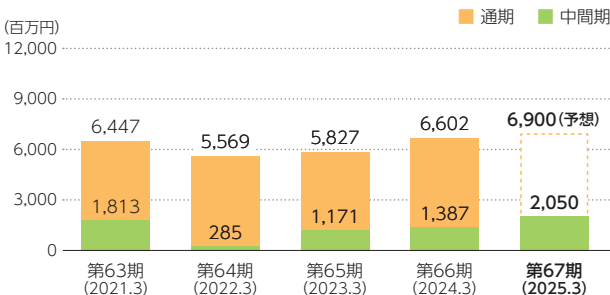
|                 |            |             |
|-----------------|------------|-------------|
| 売上高             | 123,400百万円 | (前期比 3.2%増) |
| 営業利益            | 6,500百万円   | (前期比 4.3%増) |
| 経常利益            | 6,900百万円   | (前期比 1.1%増) |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 5,000百万円   | (前期比 8.7%減) |

※ 対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期数値と比較して記載しております。

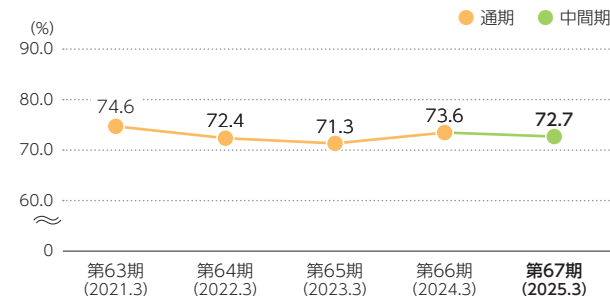
売上高 55,139百万円



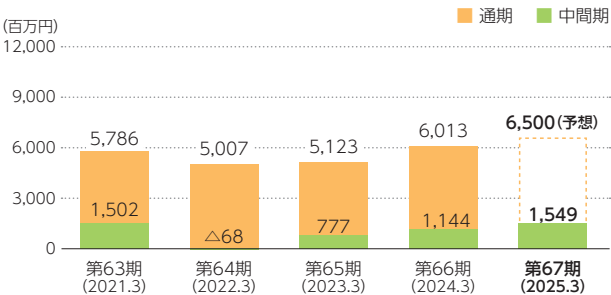
経常利益 2,050百万円



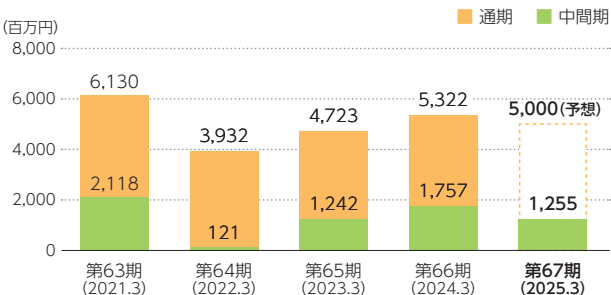
自己資本比率 72.7%



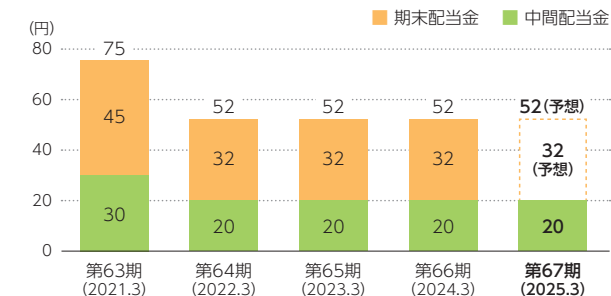
営業利益 1,549百万円



親会社株主に帰属する  
中間(当期)純利益 1,255百万円



配当金 20円



※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を基に算出しております。

# TOPICS

## 高岡工場の稼働

キョーリン製薬グループ工場では、製品供給能力の強化を目的として、富山県高岡市に高岡工場を建設し、2024年4月に稼働を開始しました。年間約20億錠（内服固形剤）の生産能力を有し、GMP\*のさらなるレベルアップを実現できる施設として、各種作業の省力化、省人化を進めることにより、製造効率の向上を図ることで、安定供給と低コスト生産の達成が可能となります。同時に、再生エネルギーの積極的活用などによる、環境負荷の低減を図ります。

なお、2023年度には、厚生労働省より増産要請を受け、気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダイン」の生産設備を高岡工場に増設することを決定し、当初より数か月前倒しで、2024年7月に初出荷を迎えました。

※ GMP (Good Manufacturing Practice) : 医薬品等の製造管理及び品質管理の基準



## 超からだのひみつ大冒険2024開催

2024年7月20日～2024年9月1日、幕張メッセにて当社が特別協賛するイベント「キョーリン製薬グループ presents 超からだのひみつ大冒険2024」が開催されました。

さらに会期中の8月21日・22日は、当社グループが社会貢献活動の一つとして実施している「くすりの出張教室」を開催し、盛況を博しました。

当社は、次世代を担う子ども達の健康づくりを応援したいとの考えに基づき、2016年より参加体験型科学イベント「からだのひみつ大冒険」に協賛しています。当イベントは、2023年より「超からだのひみつ大冒険」としてパワーアップし開催されています。また2018年度より、イベントに連動したWebサイト「おしえて!先生 からだのひみつ大冒険」を開設し、子ども達が体のしくみや病気について興味を持って楽しく学ぶことのできる動画を配信しています。



おしえて!先生 からだのひみつ大冒険  
<https://www.kyorin-pharm.co.jp/karada/>



✳ 会社の概要

|        |                                                  |
|--------|--------------------------------------------------|
| 商号     | 杏林製薬株式会社<br>(英文：KYORIN Pharmaceutical Co., Ltd.) |
| 事業内容   | 医薬品等の製造、販売と仕入                                    |
| 本社所在地  | 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目3番7号                      |
| 設立     | 1940年（昭和15年）旧杏林製薬                                |
| 資本金    | 7億円                                              |
| 事業年度   | 4月1日から翌年3月31日まで                                  |
| 定時株主総会 | 6月に開催                                            |
| 基準日    | 定時株主総会の議決権 3月31日<br>期末配当金 3月31日<br>中間配当金 9月30日   |

✳ グループ会社（連結子会社）

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| キョーリンリメディオ株式会社    | （石川県金沢市）  |
| キョーリン製薬グループ工場株式会社 | （東京都千代田区） |

✳ 株式の状況

|                       |                                                                  |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------|
| 発行可能株式総数              | 297,000,000株                                                     |
| 発行済株式の総数              | 58,145,728株（自己株式6,462,208株を除く）                                   |
| 当中間期末株主数              | 14,157名                                                          |
| 単元株式数                 | 100株                                                             |
| 株主名簿管理人<br>（特別口座管理機関） | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号<br>みずほ信託銀行株式会社                                 |
| （お問い合わせ）              | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-288-324（フリーダイヤル） |
| お取扱店                  | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店                                                |

✳ 役員

|     |                |
|-----|----------------|
| 取締役 | 代表取締役社長 CEO    |
|     | 取締役 CMO        |
|     | 取締役 CFO & CStO |
|     | 取締役（社外）        |

|     |         |
|-----|---------|
| 監査役 | 常勤監査役   |
|     | 監査役（社外） |

|      |           |
|------|-----------|
| 執行役員 | 執行役員 CBDO |
|      | 執行役員 CCO  |
|      | 執行役員 CSO  |
|      | 執行役員 CHRO |
|      | 上席執行役員    |
|      | 執行役員      |

|        |            |
|--------|------------|
| 荻原 豊   | おぎはら ゆたか   |
| 大野 道郎  | おおの のみちろう  |
| 黒瀬 保至  | くろせ やすじ    |
| 鹿内 徳行  | しかない のりゆき  |
| 重松 健   | しげまつ けん    |
| 渡邊 弘美  | わたなべ ひろみ   |
| 松本 臣春  | まつもと ともはる  |
| 阿久津 賢二 | あくつ けんじ    |
| 山口 隆央  | やまぐち たかお   |
| 池村 幸雄  | いけむら ゆきお   |
| 森田 憲右  | もりた けんすけ   |
| 加治 貴章  | かじ たかあき    |
| 田村 徳昭  | たむら のりあき   |
| 石山 順一  | いしやま じゅんいち |
| 上原 研男  | うえはら けんお   |
| 高橋 敬   | たかはし けい    |
| 橋爪 浩   | はしづめ ひろし   |
| 谷内 誠   | やない まこと    |
| 濱田 佳津宏 | はまだ かつひろ   |
| 中村 健一  | なかむら けんいち  |
| 正田 公也  | まさだ きみや    |

|     |                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ご注意 | 1. 口座管理機関（証券会社等）の口座に株式をお預けの株主さまの場合<br>住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関（証券会社等）が窓口となります。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 |
|     | 2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合<br>住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部（上記参照）にお問い合わせ願います。                                          |
|     | 3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。                                                    |
|     | 4. 未受領の配当金につきましては、上記お取扱店及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。                                                                                      |